

## 大会競技規定

- 1) 大会に参加できる選手は、各団体推薦選手並びに各都道府県の予選会を通過した選手に限るが、各都道府県の選抜方法は各地区に一任する。
- 2) レーンの割振りについては大会実行委員の厳正な抽選を行い決定するので、レーンの変更はマシントラブル以外は認めない。
- 3) 本大会において“得点が同一の場合”次の通り裁定し、順位を決める。
  - 《6Gトータル》
    - ①シルバー部門・ジュニア部門はハンディキャップの少ない方を上位とする。
    - ②ハイシリーズとローシリーズの差が少ない方を上位とする。(前後半3Gシリーズ)
    - ③上記②が同一の場合、ハイゲームとローゲームの差が少ない方を上位とする。
    - ④上記②・③共に同一の場合、“全ゲームのストライク数が多い者”を上位とする。
    - ⑤さらに上記④も同一の場合“全ゲームのスペア数が多い者”を上位とする。
  - 《H/G賞・H/S賞》
    - ⑥該当者全員を表彰対象とする。(スクラッチスコア対象)
- 4) 遅刻については、各シフト受付終了時をもって遅刻とし、それ以後の参加は認めない。
- 5) スコアの確認は各ゲームスコアをスコアカードに記載し提出する際、競技者自身がサインをすること。
- 6) アプローチパウダー、その他の物を使用しアプローチの状態を変更してはならない。万が一不備のある場合は競技委員に申し出てその指示に従うこと。
- 7) 機械によるピン倒れや不明確なものは、全て再配置とするものとする。
- 8) フェールは次の投球者が投げるまでの範囲で採用し、フェール判定機の故障によって生じたと思われる場合は競技委員が検査し裁定する。
- 9) ゲームの途中のリセット(1ゲームにつき1人最大2回まで)は、必ずボックス内の確認を必要とする。
- 10) ボールについては、参加選手1名につき会場内への持込を2バッグ(最大3個入)までと限定し、ボールにはテープその他の物を付着させてはならない。又、大会使用ボールは検量証(BPAJ会員センター及びボウラー団体発行の証)を携帯のこと。尚、当日検量証不携帯の方は事前にボール検量の事。(1個500円・本大会のみ使用)
- 11) ボールバランスに関しては、国際ボウリング連盟(IBF)が2020年8月から採用のルールを採用する。
  - ※ボール表面の調整及び表面加工については練習ボール終了までは可とする。
  - 但し、BOX外で行うこと。
- 12) 選手は必ず選手名及びBPAJ加盟のボウリング場名又は所属団体名を入れたユニフォームを着用、又、選手はスポーツマンとして恥じない品位のある服装で来場のこと。
- 13) 競技者は競技中の喫煙を禁止とする。又、食事に関しては競技中禁止とし、飲料に関しては飲むとき以外はマスクを着用し、感染に十分注意しながらボウラーズベンチ後方にて摂ることが出来る。
- 14) スムーズな大会進行を行うために左右1レーンが空いたら投球する。
- 15) その他は、通常行われている競技方法に依るが、トラブルが発生した場合は競技委員長が最終協議裁定を行う。
- 16) 個人情報については、大会事務局にて責任を持って管理を行う。
- 17) 競技中及び場内においては不織布マスクの着用を義務とし、会話は必要最低限に留める。
  - (マスクは必ず鼻まで覆うこと。)
- 18) 競技にあたっては、(公社)日本ボウリング場協会「新型コロナウイルスの感染症ガイドライン」を遵守する。また、本大会参加者は指定の「リスクチェックシート」の提出を義務とする。
- 19) 今後の感染状況、世の中の情勢により、競技方法、スケジュール並びに参加人数等、大幅な変更または予選会及び、本大会の開催を中止する場合もある。開催中止となった場合の参加費の返還は各所属団体または、各都道府県事務局を通じて行う。但し、所定の投球が完了している場合は参加費の返還は一切行わない。
- 20) 本大会に参加する小学生以下の選手については、1名につき、保護者1名が引率することを必須とする。また、中学生の選手については保護者1名の引率を可とする。なお、感染防止の観点から1名を超えての引率は不可とする。また、当該保護者以外は会場外で待機とする。上記条件以外選手の付き添い者は会場に入場はできない。